

日本経済の状況と宝飾業界の関係

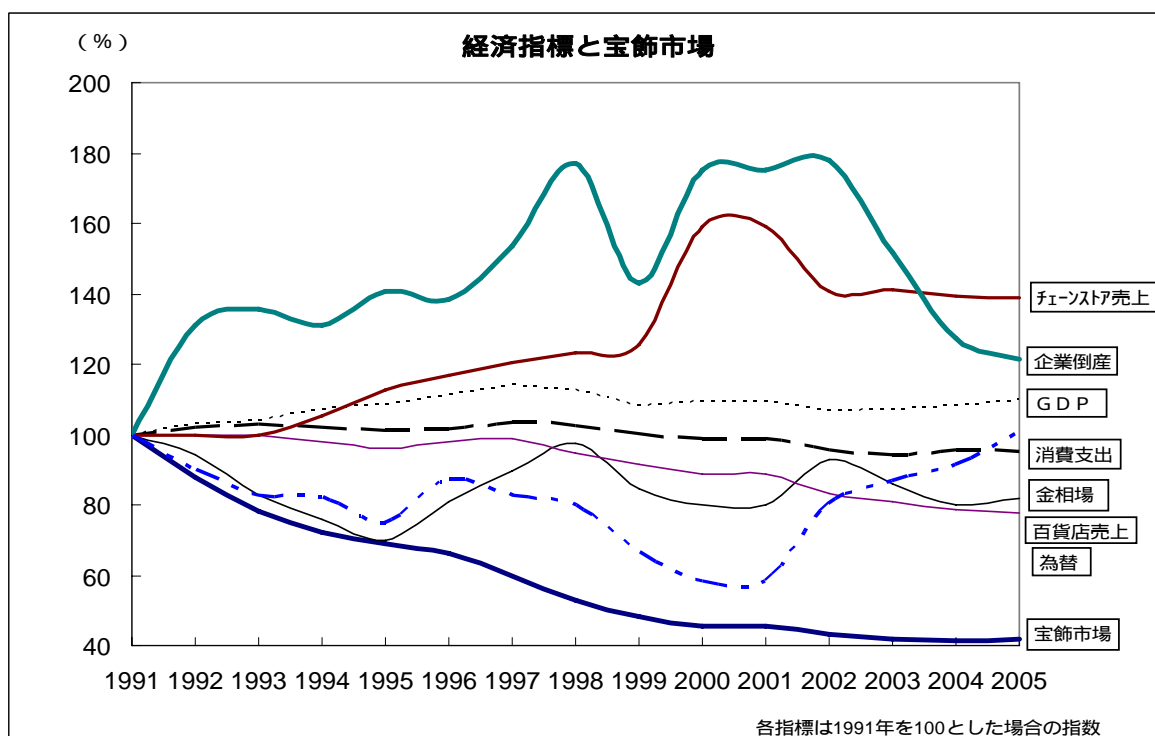
各経済指標と宝飾市場の関係

ここでは様々な指標と宝飾市場の推移グラフを比較したものである。2003年は株価8,000円割れを記録したが、その後1万円を回復、2004年には12,000円を超え、2005年には17,000円を超えるまでに景気回復をした。その他の景気指標においても殆ど明るい結果数字を示している。2006年に入ると景気はやや一服感を持って入るが、依然として過去最高益の決算を上げる上場企業などもあり、好況を維持しているといえよう。

宝飾市場は景気にやや遅れて連動すると言われているが、ここに来てリアルタイムに反応するようになってきている。というのはバブル以降の不況がかつて無いほどに長いものであり、消費者は預貯金や可処分所得においても十分に消費する機会を待っていたフシがあるからで、ちょっとしたキッカケが今回のジュエリー市場回復の引き金になっていると思われる。日本経済の動向と宝飾市場の関連性をもて見ると、

- 株価の急回復が、ニューリッチ層を生むとともに、一般消費者にもちょっとしたお小遣いをもたらす
- 連日の景気回復ニュースが消費者の購買意欲を刺激する
- 企業の業績回復がボーナスなど所得を増やし、サイフの紐をゆるめる
- 雇用の回復が可処分所得を増やし、贅沢品、嗜好品の消費を増加させる

など直接的、間接的に多くの要因が宝飾業界にも影響を与えている。しかし、回復に至ってもまだ模様となることは否めず、バブル期のようなすべての企業が良くなるわけではなく、勝ち組、負け組みがはっきりしていくだろう。主要経済指標を見ると、景気は底を打ったものの足踏み状態が続いている



暦年	国内総生産(億円)		東京外国為替相場平均 (円/ドル)	卸売物価指数		消費者物価指数		全国勤労者世帯家計収支(月平均)			
	GDP	前期比		総合平均	前年比	全国総合	前年比	実収入	前年比	消費支出	前年比
1991	458,299	6.6	134.6	107.8	-0.6	96.5	3.2	548,769	5.2	345,473	4.2
1992	471,020	2.8	126.6	106.1	-1.6	98.1	1.7	563,855	2.7	352,820	2.1
1993	475,381	0.9	111.1	103.0	-2.9	99.4	1.3	570,545	1.2	355,276	0.7
1994	491,835	1.1	102.2	101.0	-1.9	100.1	0.7	567,174	-0.6	353,116	-0.6
1995	497,735	1.2	94.0	100.0	-1.0	100.0	-0.1	570,817	0.6	349,663	-1.0
1996	510,802	2.6	108.8	100.1	0.1	100.1	0.1	579,461	1.5	351,755	0.6
1997	521,861	2.2	120.9	101.6	0.6	101.9	1.8	595,214	2.7	357,636	1.7
1998	515,834	-1.2	131.0	100.0	-1.6	102.5	0.6	588,916	-1.1	353,552	-1.1
1999	495,226	-0.8	113.9	96.7	-3.3	102.2	-0.3	574,676	-2.4	346,177	-2.1
2000	501,068	-1.1	107.7	96.1	-0.1	101.5	-0.7	560,954	-2.4	340,977	-1.5
2001	496,776	-2.4	121.5	95.3	-0.8	99.3	-0.7	551,160	-1.7	335,042	-0.4
2002	489,618	-1.6	125.3	93.9	-2.3	98.4	-0.9	538,277	0.3	330,651	-1.3
2003	490,543	-0.1	115.9	95.0	1.2	98.1	-0.3	524,542	-2.6	325,823	-1.5
2004	496,050	1.1	108.2	96.1	1.3	98.1	0.0	530,028	1.0	330,836	1.5
2005	502,905	1.4	110.2	97.7	1.7	97.8	-0.3	522,629	-0.8	328,649	-0.7

暦年	百貨店売上高(億円)*		チェーンストア売上高(億円)		乗用車販売台数(千台)		着工新設戸数(戸数)		企業倒産(件数)		国内金相場 (円/g)	国内プラチナ相場 (円/g)
		前年比		前年比	新車	前年比		前年比		前年比		
1991					4,868	-4.6	1,370,126	-19.7	10,723	65.8	1,609	1,690
1992					4,454	-8.5	1,402,590	2.4	14,069	31.2	1,451	1,525
1993	112,636	-6.2	102,262	-3.2	4,199	-5.7	1,485,684	5.9	14,564	3.5	1,328	1,395
1994	110,249	-2.6	107,679	-1.6	4,210	0.3	1,570,252	5.7	14,061	-3.5	1,321	1,393
1995	108,248	-2.1	115,149	-1.7	4,444	5.6	1,470,330	-6.4	15,108	7.4	1,209	1,343
1996	110,390	1.3	119,372	-1.9	4,669	5.1	1,643,266	11.8	14,834	1.8	1,409	1,451
1997	111,091	-0.8	123,039	-2.1	4,492	-3.8	1,387,014	-15.6	16,464	11.0	1,333	1,403
1998	106,573	-4.7	125,911	-4.0	4,093	-8.9	1,198,295	-13.6	18,988	15.3	1,286	1,636
1999	102,854	-3.1	128,390	-5.2	4,154	1.5	1,214,601	1.4	15,352	-19.1	1,069	1,443
2000	100,151	-2.6	162,631	26.7	4,259	2.5	1,229,843	1.3	18,769	22.3	936	1,963
2001	96,261	-0.5	159,104	-5.2	4,289	0.7	1,173,858	-4.6	19,164	2.1	1,105	2,142
2002	93,692	-2.3	143,701	-2.1	4,441	3.5	1,151,016	-1.9	19,087	-0.4	1,296	2,238
2003	91,030	-0.3	144,267	-3.2	4,460	0.4	1,160,083	0.8	16,255	-14.8	1,399	2,634
2004	88,536	-2.8	142,533	-3.5	4,768	1.1	1,189,049	2.5	13,679	-15.8	1,472	3,008
2005	87,629	-1.1	141,757	-2.6	4,748	-0.4	1,236,175	4.0	12,998	-5.0	1,619	3,245

公的データなどから矢野経済研究所で推定、2004上については一部第一四半期の数字を代用

*店舗調整後の数字

